

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取り組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園 ふれあいの森	意図(対象をどうするのか)	来園者に対して気持ちの良い公園を提供する。
②事務事業の概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び修繕。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民との協働管理においては、高齢化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	公園サポーター管理による公園を増やし、来園者に対して気持ちの良い公園を提供することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	33	34	33	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	39	40	39	箇所	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	135,771	152,089	金額(千円)	内容	143,482		
	国支出金(千円)		96,300	公園管理委託			
	県支出金(千円)		34,467	公園維持工事			
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	135,771	152,089		143,482		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	都市公園数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費の増加。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	公園管理において、地域住民の参加を増やし、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H25⇒26繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	0		流用・充当		
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、市民が利用できる公開された緑地を確保する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	ふれあいの森、保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑と触れ合える場を提供する。
②①に基づく取り組み結果	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、みどりの保全助成金の交付などを行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市公園、ふれあいの森等	意図(対象をどうするのか)	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減。
②事務事業の概要	保存樹木、保全林の指定、公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借を行い、みどりの保全助成金を交付する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	個人所有の自然緑地の適正な維持管理には、相当な費用が必要となり、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生時などをきっかけに宅地化する傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市民のための良好な緑の保全を図ることで、快適な緑地環境の確保ができた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	市民一人当たりの公園面積	2.81	2.9	2.91	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算
事業費(千円)	17,825	19,827	金額(千円)	内容		12,131
	国支出金(千円)		6,142	公園用地賃借料		
	県支出金(千円)		7,353	桜の植樹工事		
	市債その他(千円)		4,536	みどりの保全助成		
	一般財源(千円)	17,825	19,827			12131

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保全林、賃貸借中の公園用地、ふれあいの森用地の相続発生などによる所有者からの急な買い取り希望への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要であるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、第二期整備計画区域(2.7ha)の用地買収を行う。また第二期整備計画(案)の策定作業を進める。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	第二期の整備(案)策定後、平成29年度の工事着手の為の実施設計の策定と用地買収を行う。
②①に基づく取組み結果	第二期整備区域の用地買収の実施と整備に向けた市民協働の懇談会で計画(案)の策定を実施したが、次年度に繰越となった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	栗野の森及びその周辺の斜面地、休耕田(約8.3ha)	意図(対象をどうするのか)	樹林地の保全を行い、自然環境を体感し、観察し、学習する場とする。
②事務事業の概要	市内最大級の「栗野の森」と隣接する谷津田を活かした森と水辺のある多自然型の公園を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内では樹林地が減少しており、新鎌ヶ谷地区の街づくりの進展に伴い自然環境を活かした栗野地区公園の早期整備の要望が強まった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	栗野地区公園用地取得(第二期整備計画区域)						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	ii 第二期用地取得面積		20.8	40.1	55.3	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	54161	46,155	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)	17000	14,000	42,148		用地購入		
県支出金(千円)					0		
市債その他(千円)	30600	31,200			79,700		
一般財源(千円)	6561	955			14,636		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	栗野地区公園一部開園に伴い、さらに第二期整備計画区域(2.7ha)の早期完成の要望が強い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	第一期に続き、早期完成の要望が強い第二期整備計画区域を整備していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	用地購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	72672	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	第二期整備計画区域一部用地買収、設計委託	107907	72672	当初	107,907	46155	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	46155
④未完了・非着手の理由	生態系調査の期間及び懇談会実施に時間を要したため			流用・充当	-35,235			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		10,636				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	街区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、東道野辺ふれあいの森の用地を取得する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	東道野辺ふれあいの森の用地購入及び公園排水整備基本設計の策定。
②①に基づく取り組み結果	東道野辺ふれあいの森の用地購入を実施した。(H26、H27年度分購入完了)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	東道野辺ふれあいの森	意図(対象をどうするのか)	ふれあいの森を取得し、都市公園として整備する。
②事務事業の概要	東道野辺ふれあいの森を用地取得し、都市公園として整備し、市内に残された貴重な樹林地を保全する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	森林レクリエーション及び保健休養等の場として求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	東道野辺ふれあいの森の用地購入				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 東道野辺ふれあい森用地購入		34.1	65.4	% 業務取得
	ii				
iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	159,214	138,863	金額(千円)	内容	113,281
国支出金(千円)	37,000	46,000	138,001	用地購入	33,000
県支出金(千円)					0
市債その他(千円)	95,000	88,800			73,400
一般財源(千円)	27,214	4,063			6,881

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	鎌ヶ谷市緑地環境事業(吸収源)として、用地取得の早期実現及び整備を進める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	緑の基本計画における緑の将来像実現のため、今後も公園整備を実施する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	用地購入(東道野辺ふれあいの森)	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	東道野辺ふれあいの森の用地購入	139,465	139,465	当初	98,230	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	完了			補正	6,000	138,863	現年分	138,863
				流用・充当	35,235			
④未完了・非着手の理由				平成28年度への繰越額(単位:千円) 0				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)総合運動公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度からの新規事業のため、前回の評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度に取得した緑道用地を整備する。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	(仮称)総合運動公園緑道	意図(対象をどうするのか)	用地を取得し緑地環境を整備する。
②事務事業の概要	市制記念公園から陸上競技場、市民体育館とを連絡する緑道として整備し、利用者の安心、安全の確保及び一体的な利用の促進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	スポーツ・レクリエーションの拠点となる総合運動公園構想の実現が望まれている中、陸上競技場などの施設を結ぶ緑道の必要性が認識された。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	(仮称)総合運動公園緑道の用地取得				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	(仮称)総合運動公園用地取得		100%	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)		28,081	金額(千円)	内容	7,555
国支出金(千円)		26,000	26,984	用地購入	6,000
県支出金(千円)					
市債その他(千円)					
一般財源(千円)		2,081			1,555

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市制記念公園と陸上競技場との間の緑道を市道2321号線まで整備する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	総合運動公園構想に基づき、公園として整備を図る計画を策定しているため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	緑道用地購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	(仮称)総合運動公園緑道の用地取得	28,474	28,474	当初	28,474	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	28,081	現年分	28,081
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画を基に維持管理を実施。
②①に基づく取り組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市内の公園施設	意図(対象をどうするのか)	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公園施設の長寿命化計画を定め、計画的な維持管理を行うことにより、市民サービスの向上、安全安心な利用に努める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが必要となっている。誰もが安心して利用出来る都市公園の管理が望まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	長寿命化計画を基に市制記念公園の遊具を更新をした。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	対象公園数		176	176	箇所	業務取得
	ii	長寿命化対策計画対象施設数		6.4	8.8	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	46,406	9,979	金額(千円)	内容	20,000		
国支出金(千円)	0		9979	遊具更新工事	10,000		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	42,296	5,000			6,000		
一般財源(千円)	4,110	4,979			4,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	誰もが安心して利用できる公園の管理が推進されることを念頭にし、今後進展する遊具等公園施設の老朽化に対する安全管理の強化を進める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	施設の修繕・更新	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化整備	20,000	20000	当初	20,000	9979	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越	0		現年分	9,979
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				平成28年度への繰越額(単位:千円)				